

1 目的

新庁舎の建設候補地選定に際しては、新庁舎を核に、その他主要な公共施設の機能をどのように再編再配置することが効果的であるかシミュレーションを行い、将来を見据えた「まちづくりのランドデザイン」を描いたうえで総合的に判断する方向で検討を進めている。

今後、具体的なシミュレーションを進めていく前段として、本市における公共施設の現状と課題、そして配置状況を踏まえ、公共施設の在り方について検討を行う。

2 シミュレーションに際して重要な視点

◇ 第3次総合計画における将来都市構造との整合

- ・ 烏山市街地：都市活動拠点エリア…新本庁舎等の行政機能を含めた都市機能を誘導するエリア。中心市街地の再生等と併せ、市のシンボルとなるような都市環境を形成していくエリア。
- ・ 南那須市街地：都市生活拠点エリア…宇都宮地域への近接性等を活かし、定住促進の中核となるエリア。公共施設の新たな配置等により、定住促進拠点としての環境を形成していくエリア。

◇ 都市機能の誘導・公共交通の充実によるコンパクトシティの実現

◇ J R烏山線を活用した未来につながるまちづくり

◇ 公共施設の複合化・多機能化の推進

3 主な公共施設の現状

(1) 烏山地区

施設名称 所在地 延床面積 建築年	現状と課題	公共施設等総合管理 計画において示して いる「今後の方針」
①烏山庁舎 中央1-1-1 2,038.89㎡ 2F 昭和36年(築62年) 昭和47年(築51年) 昭和61年(築37年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧耐震構造、老朽化、維持管理費の増加 ・ エレベーター、常設の非常用電源等が未整備 ・ 駐車場不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁舎への移転後に用途廃止、効果的な跡地利用を検討
②烏山公民館 中央2-13-8 750.00㎡ 2F 昭和52年(築46年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧耐震構造、老朽化、今後の維持管理が懸念 ・ エレベーター、障がい者用トイレ等が未整備 ・ 施設の利用頻度は非常に高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他公共施設との複合化による集約化を検討
③烏山南公民館 野上703 1,136.80㎡ 3F 昭和55年(築43年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧野上小学校(平成19年廃校)の校舎を平成20年に耐震補強・大規模改修を行っているが、築40年超経過 ・ エレベーター、障がい者用トイレ等が未整備 ・ 施設の利用頻度は高い ・ 令和10年度末に1階すくすく保育園が閉園予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な維持管理による長寿命化

④烏山図書館 中央1-18-39 811.46㎡ 昭和52年(築46年) 昭和55年(築43年)	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震構造、老朽化、長期的な継続利用は困難 平成24年度に指定管理者制度を導入 併設学習室は、烏高生などの学生が利用 収蔵庫1階は、図書館書庫及び一部を屋敷自治会の倉庫として使用 	<ul style="list-style-type: none"> 南那須図書館との役割分担を明確化の上、その他公共施設との複合化による集約化を検討
⑤烏山体育館 中央2-13-12 1,463.50㎡ 昭和47年(築51年)	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震構造、老朽化 安全確認調査において使用に際し危険が伴うとの結果を受け、令和4年度末をもって利用中止 	<ul style="list-style-type: none"> 統合再編による集約化を検討
⑥野上体育館 野上703 605.00㎡ 昭和55年(築43年)	<ul style="list-style-type: none"> 旧野上小学校(平成19年廃校)の体育館をそのまま利用 旧耐震構造、老朽化、汲み取り式便所 定期的な夜間利用 	<ul style="list-style-type: none"> 統合再編による集約化を検討
⑦烏山武道館 中央2-17-1 469.40㎡ 昭和50年(築48年)	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震構造、老朽化 那須烏山市武道館(平成28年築)への統合を前提としていたが、現時点においても、空手、剣道、柔道のほか、健康ダンス場としても利用 施設が狭く、公式大会には適さない 	<ul style="list-style-type: none"> 市武道館への統合再編による集約化を検討
⑧烏山弓道場 中央2-17-1 125.94㎡ 昭和50年(築48年)	<ul style="list-style-type: none"> 旧耐震構造、老朽化 平成28年度以降、年間利用者数約1,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 南那須弓道場への統合再編による集約化を検討
⑨こども館 南1-562-12 1,077.09㎡ 昭和43年(築55年)	<ul style="list-style-type: none"> 県立青年の家として閉所後、平成19年に市に無償譲渡 旧耐震構造、老朽化、維持管理費の増加 敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定 来館者が大幅に減少(1日平均5組) 新認定こども園(令和7年4月開園)への機能移転を検討中。機能移転が可能となれば、令和7年度から休館 	<ul style="list-style-type: none"> その他公共施設との複合化による移転を検討
⑩山あげ会館 金井2-5-26 1,699.24㎡ 2F 平成3年(築32年)	<ul style="list-style-type: none"> 新耐震構造、平成29年に大規模改修を行ったが、別途で空調設備の更新及び特定天井の改修に多額の改修費用が必要 指定管理者制度で施設運営 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な維持管理による長寿命化 民間活力を活かした機能充実・連携強化
資料館	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により、南那須歴史民俗資料館と烏山郷土資料館が閉館、既に施設は解体撤去 収蔵資料は、旧七合中学校を回収し収蔵展示 平成26年度に資料館と図書館機能を複合化した歴史資料館基本構想・基本計画を策定し具体的整備に着手予定だったが、事業は凍結状態 	<ul style="list-style-type: none"> 烏山城跡の国史跡指定後に検討されるガイダンス施設の整備に際し、資料館機能及び図書館機能を併設した複合化を含め検討

(2) 南那須地区

施設名称 所在地 延床面積 建築年	現状と課題	公共施設等総合管理 計画において示して いる「今後の方針」
<p>①保健福祉センター 田野倉85-1 3,076.00㎡ 平成12年(築23年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新耐震構造、老朽化 ・災害時の避難施設、災害対策本部の代替施設として指定 ・令和4年にデイサービスとして利用していた部屋を改修し事務室を拡張 ・社会福祉協議会事務所が併設 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の支所機能及び避難所機能を兼ねた運用 ・計画的な維持管理による長寿命化
<p>②南那須公民館 岩子6-1 1,329.00㎡ 2F 昭和61年(築37年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新耐震構造、平成27年に大規模改修を行ったがエレベーター未整備 ・南那須地区唯一の公民館 ・東日本台風時には、荒川の氾濫により建物が浸水、豪雨時の浸水対策が急務 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理による長寿命化
<p>③南那須図書館 田野倉65-1 1,765.91㎡ 平成15年(築20年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新耐震構造、バリアフリー化だが築20年経過 ・今後、大規模改修が必要 ・指定管理者制度で施設を運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理による長寿命化
<p>④南那須弓道場 岩子141 164.26㎡ 平成13年(築22年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新耐震構造だが、築20年以上経過 ・平成28年度から平成30年度の年間利用者数は約1,100人だが、令和元年度以降は減少傾向 ・民有地のため、毎年、地権者に賃借料を支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・烏山弓道場の集約化を検討
<p>⑤那須烏山市武道館 大金240 992.11㎡ 平成28年(築7年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新耐震構造、平成29年度供用開始 ・剣道・柔道・空手場として利用 ・指定避難所(350人収容)に指定されるも空調設備が未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理による長寿命化 ・烏山武道館の集約化を検討
<p>⑥南那須B&G 海洋センター 岩子170 1,086.64㎡ 昭和61年(築37年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に大規模修繕したが、プール槽の底盤に歪みや塗装の剥離、給排水設備の老朽化により漏水が多発 ・市内小学校のプール授業に活用 ・浸水想定区域に立地。東日本台風時には、荒川の氾濫により浸水の一步手前で難を逃れる ・移設新築を含めた再検討が示唆される 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理による長寿命化

4 これまでの検討委員会委員・市民からの意見（参考）

- 多くの市民が文化的施設の充実を望んでいる。ゴルフ場など民間の場所を借りずに式典ができるような機能の併設を検討いただきたい。
- 烏山公民館は老朽化が著しく、体育館も利用休止となっている。こうした施設を一体化して新庁舎に併設できれば市街地の活性化にもつながる。
- 中央公園に庁舎を建てた場合、大きなイベントのときの駐車場がなくなってしまうのは問題。烏山庁舎跡を更地にして駐車場にするのも一案。
- 烏山庁舎は烏山城の麓にあり、文化的にも重要な場所。烏山駅から烏山高校までの通学路になっていて人通りも多く、文化的な施設や学習の場となるような施設を整備するのも良い。
- 南那須地区には大きな公園がない。南那須庁舎の隣の市武道館の前に遊具があるので、それを生かしつつ、広い芝生の広場を作るだけでも子どもたちは楽しめると思う。小学校も近く、いろいろなイベントを行うことができたり、フレキシブルに使える場所として整備するのも良い。
- 市外から小学生が来る際、大きな公園はないかとよく聞かれるが、せせらぎ公園以外の公園がない。烏山庁舎・南那須庁舎の跡地を、市民が活用できるような公園とするのも良い。
- 南那須地区は教育・文化・スポーツ施設を集約することが望ましい。
- 南那須地区は武道館、緑地運動公園、B&Gなどスポーツ施設が充実している。更なる施設の集約化と充実を図ることにより、総合計画との整合を図ることができる。そうなれば、保健福祉センターに教育委員会が配置されることは理にかなっている。
- 多くの市民がホールの整備を望んでいる。
- J R烏山線の存続が大きな課題となっており、J R烏山駅を絡めながら、庁舎だけでなく、総合的にまちづくりを考えていくことが重要だ。
- J R烏山駅の東側は国道に面していて、太陽光発電所になっている土地を買収できれば、東と西が一体的な起点となり、更なる相乗効果が期待できる。
- 7/26 商工会青年部主催出前講座におけるアンケート「新庁舎の他に建設を希望する施設」

市民ホール・多目的ホール	22人	こども館・児童館	2人
体育施設	5人	オープンスペース（市民広場）	1人
公園	3人	勉強スペース	1人
図書館	2人	庁舎+民間企業	1人
市民協働施設・市民交流施設	2人	駅前に何かしらの施設	1人

- 子育て世代にとって文化の過疎地とならないような芸術などに触れられる文化施設を整備してほしい。
- 歴史民俗資料館と図書館を併せた、茂木町のふみの森のような検討もしていただきたい。
- 電車でのアクセスが良いところに体育館があれば、部活の中高生の利用により、利用者を増やすことができる。併せて駅前に公園や市庁舎ができ、まちが周りに形成されていることでJ R烏山線の利用価値が高まり、まちの賑わい創出にもつながっていく。